

③ 教授過程

学習内容と活動	時間	教 授 と 分 担		形態	反応評価	準備
		T e	T f			
1. 本時の版画のめあてを、たしかめる	3	<ul style="list-style-type: none"> 本時のめあてが確認されたかどうかたしかめる 	1. 本時の学習について何をするかわからせる (1) 版木に彫る手順や要点の説明	大	38	
2. 彫刻刀の種類や特徴および使用方法について説明をきく	7	2. 彫刻刀の種類や特徴および使用方法について説明をする (1) 彫刻刀の種類と名まえを周知 刃先がななめになっているもの (キリダシ) 刃先がたいらなもの (ヒラ刀) 刃先がまるい形のもの (マル刀) 刃先がV字形になっているもの (三角刀) (2) 使用のしかたについて危険防止の面からの話し合い どうしたらけがをしないでうまく彫れるか、刀の進む前に手をおかない、力をいれすぎない	<ul style="list-style-type: none"> OHPの操作をする 説明をよくきいているかどうか観察する 全員が正しく彫刻刀をもてたか確かめる 	大	38	OHP
3. 彫刻刀の種類による彫りの表現をする	7	<ul style="list-style-type: none"> 版木のうらに彫るようすを観察する 安全に注意しているか 彫刻刀の持ち方はよいか 彫刻刀の特徴を生かした彫り方をしているか 	3. いろいろな彫り方と彫刻刀との関係を説明し、版木のうらに彫らせてみる (1) キリダシ (2) ヒラ刀 (3) マル刀 (4) 三角刀 (5) 彫りそんじた時	大	38	
4. 彫りの作業を見通しをたてて安全にすすめられるようにする	25	4. 机間巡視をしながら下記の点に注意して彫りの指導をする A 集団……T e B 集団……T f (1) 中心になるところから彫る (2) 白と黒の対比を考えながら彫る (3) こまかい部分は最小限に彫る。 (4) 刀の使い方をくふうしながら彫る (5) 安全な彫り方をする		個	34	
5. 反省をする	3	5. 本時の学習を反省させる (1) 彫刻刀が安全につかえたかどうかの話し合い (2) 作業がおもうようにすすんだかどうかの話し合い (3) 彫刻刀の特徴を生かして彫れたかどうかの話し合い	<ul style="list-style-type: none"> 反応をたしかめる 	大	38	